

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	おめでとう赤ちゃん訪問事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系			根拠法令計画など	子育て支援交付金	
基本政策(大項目)	1	健康で安心して暮らせる鳴門づくり	事業期間	開始	平成 22年度
政策(中項目)	1	子どもいきいき元気都市なると			終期
(小項目)		児童福祉			
施策	2	児童福祉の推進			
基本事業	3	子育て家庭への支援			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 概ね3歳未満の児童と保護者 4カ月未満の乳児を持つ全ての世帯						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	子育ての不安感を緩和し保護者の孤立化を解消を図ることで、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供を行い子どもの健やかな成長を促進させる						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		訪問乳児数	88	376	380	380	380	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	別メニューで事業を実施、移動型親子教室や乳児訪問事業を実施。 NPO法人「子育て応援団レインボー」に委託事業として、重点分野雇用創出事業を活用した「おめでとう赤ちゃん訪問事業」を実施し、乳児家庭の全戸訪問や出産期の支援、要支援世帯の見守り等を行い子育て支援を実施した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ここにこ広場参加親子数	1,302	1,094	1,400	1,400	1,400	組
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	訪問乳児数		76	303	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			80.6	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		14,810	15,600	7,300	7,300	7,300	千円
	財源内訳	国	0	0	3,650	3,650	3,650	
		県	14,810	15,600	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	3,650	3,650	3,650		
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		16,113	16,903	8,603	8,603	8,603	千円	

【事務事業名:おめでとう赤ちゃん訪問事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	在宅子育て家庭の不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するために商業施設の空きスペースにおいてにこにこ広場を開催し週5日間在宅家庭親子の交流や相談、講習、援助の実施やおめでとう赤ちゃん事業による4カ月までの乳児全戸訪問を実施する。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	乳幼児家庭の孤立化や虐待を未然に防ぎ健全な育成環境を図るため必要。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	在宅乳幼児家庭支援を行うために適している。
<input checked="" type="checkbox"/>		② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	国の事業で要綱のとおり実施	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				